



## 海洋プラスチック問題について

海流に乗って浮遊を続けるビニール袋や海底の泥の中に大量に堆積するマイクロプラスチックなど、海に大量に流入するプラスチックが世界的な問題となっています。

この海洋プラスチックは、経済の成長や便利なライフスタイルへの移行と共に増加の一途をたどってきました。多くのプラスチック製品を生産、消費している日本も大きく関係している問題です。国際的に大きな責任を持つ国の一つとして、この「海洋プラスチック問題」の解決に向けて早急に対応していく必要があります。

プラスチックは手軽で耐久性に富み、安価に生産できることから、製品そのものだけでなく、ビニールや発泡スチロールなどの包装や梱包、緩衝材などにも幅広く使われています。しかし、プラスチックの多くは「使い捨て」されており、利用後きちんと処理されず、環境中に流出してしまうことも少なくありません。そして環境中に流出したプラスチックのほとんどが最終的に行きつく場所が「海」です。既に世界の海に存在しているといわれるプラスチックごみは、合計で1億5,000万tであり、そこへ少なくとも年間800万tが新たに流入していると推定されています。

こうした大量のプラスチックごみは、既に海の生態系に甚大な影響を与えています。例えば、海洋ごみの影響により、魚類、海鳥、アザラシなどの海洋哺乳動物等が傷つけられたり死んだりしています。また、豊かな自然で成り立っている観光業や漁業・養殖業も大きな損害を受けています。



山形県酒田市飛島



長崎県対馬市

参考・出典 WWFジャパンホームページ 海洋プラスチック問題について  
<https://www.wwf.or.jp/>  
 環境省ホームページ 海洋プラスチック問題について

広告

国土交通大臣許可 (特-29) 第17395号



**上毛緑産工業株式会社**

〒370-3607  
 群馬県北群馬郡吉岡町大字小倉827-87  
 TEL 0279(54)7723 FAX 0279(54)8603  
 URL <http://www.jouryoku.com/>

**再生資源による法面緑化 PMCI**

ガスも、電気も、東京ガス。



ずっともプラン

東京ガスグループだから、まかせて安心!

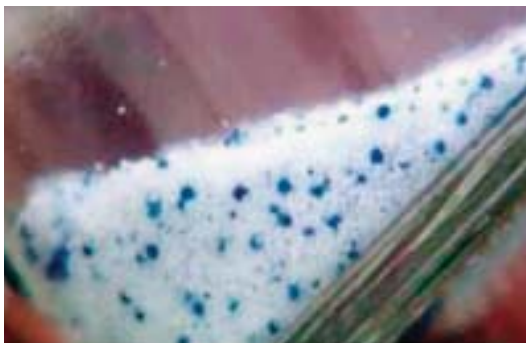
詳しくは [東京ガス 電気](http://www.tg-power.jp) 

 TOKYO GAS

※広告内容については、直接広告スポンサーへお問い合わせください。  
 ※広告掲載を希望する方は、県庁環境政策課 (TEL:027-226-2817) へお問い合わせください。

## マイクロプラスチックについて

海に流出したプラスチックのごみの多くは、海岸での波や紫外線等の影響を受けるなどして、やがて小さなプラスチックの粒子となり、それが世界中の海中や海底に存在しています。5mm以下になったプラスチックは、マイクロプラスチックと呼ばれています。マイクロプラスチックは、日本でも洗顔料や歯磨き粉にスクラブ剤として広く使われてきたプラスチック粒子（マイクロビーズ）や、プラスチックの原料として使用されるペレット（レジンペレット）の流出、合成ゴムでできたタイヤの摩耗やフリースなどの合成繊維の衣料の洗濯等によっても発生しています。マイクロプラスチックについては、人を含む生物の身体や繁殖などに、具体的にどのような影響を及ぼすのか詳しいところはまだ明らかにされていませんが、本来自然界に存在しない物質が生物の体内に取り込まれていくことを楽観視することはできません。



マイクロビーズ

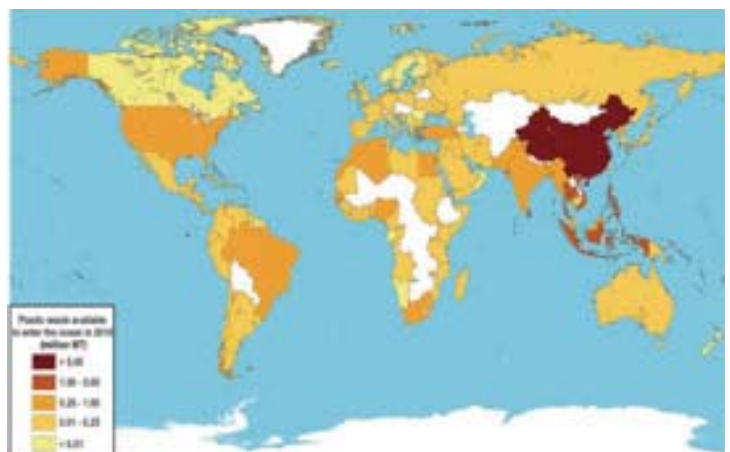


微細なプラスチック片

## 海洋に流出したプラスチックごみの発生量について

陸上から海洋に流出したプラスチックごみの発生量（2010年推計）を人口密度や経済状態等から国別に推計した結果が左下のとおりです。日本は年間約6万tものプラスチックごみを海に流出させており、早急に対策が必要です。

1位	中国	353万 t / 年
2位	インドネシア	129万 t / 年
3位	フィリピン	75万 t / 年
4位	ベトナム	73万 t / 年
5位	スリランカ	64万 t / 年
	：	
20位	アメリカ	11万 t / 年
	：	
30位	日本	6万 t / 年



陸上から海洋に流出したプラスチックごみ発生量（2010年）ランキング（推計量の最大値を記載）

海岸から50km以内に居住している人々によって不適正処理されたプラスチックごみの推計量（2010年）で色分けした地図（濃い色ほど、ごみ発生量が多い）

参考・出典 環境省ホームページ 海洋プラスチック問題について  
<https://www.env.go.jp/>



## レジ袋有料化について

海洋プラスチックごみ対策や地球温暖化防止等のため、環境省はスーパーやコンビニエンスストアなどの小売業を対象に、2020年7月以降、レジ袋有料化を義務化すること目指しています。日本国内で使われているプラスチック製レジ袋は、年間10万tを超えており、一部は河川や海に流れ、海洋汚染につながっています。有料化が義務づけられれば、レジ袋の使用量が減少し、プラスチックごみの削減を見込むことができます。また、環境省はプラスチック資源循環戦略で使い捨てプラスチックを2030年までに累積25%排出抑制するという目標を打ち出しており、レジ袋の有料化は、これを達成するための手段のひとつにもなります。

## 群馬県内のレジ袋の使用量について

私たちは、1人あたり毎日1枚程度レジ袋を使っています。群馬県全体では、年間約5.3億枚もレジ袋を使用していることとなります。これは、原油換算にして約6.4千kl、二酸化炭素換算にして約2万6千tにもなります。ごみ減量化や、地球温暖化防止のために、買い物へ行く際には、マイバッグを持参するようご協力をお願いいたします。

## 群馬県のレジ袋削減等に関する取り組みについて

群馬県では、レジ袋の削減やごみ減量化を目的として、「マイバッグの利用」「リサイクル商品や簡易包装の商品の選択」「地産地消」などの「環境にやさしい買い物スタイル」の普及啓発を行っています。

今年度は県内14市町のスーパー各1店舗ずつをモデル店として設定し、啓発物品の配布やアンケート調査を行っています。また、消費者のリサイクル意識を高めるため、食品スーパーで行われている容器等の店頭回収を支援することとし、回収マナーの向上を呼びかけるステッカーの配布を行います。

ごみの減量や、温暖化防止に向けて、是非皆様にも、「環境にやさしい買い物スタイル」を心掛けていただきますよう、お願いいたします。

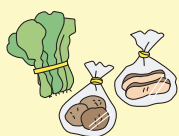
### 環境にやさしい買い物をしましょう!!



詰め替え商品の利用



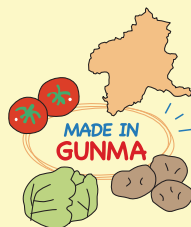
ごみをきちんと分別



少ない包装の商品を選ぶ



リサイクルされた商品を選ぶ



食材は生産地の近いものを選ぶ

### マイバッグお買い物マナーを守りましょう!!



1 「マイバッグ」は折たたんだまま、お買い物をしましょう。



2 商品はお店のカゴに入れてレジへ。



3 レジに着いてから「マイバッグ」を出しましょう。



4 精算が済んだらお店のカゴは決まった場所へ戻しましょう。

# GS事業者の横顔

## モギエナジーシステム株式会社



認定番号 272577  
住 所 高崎市問屋町3-9-7  
電話番号 027-361-5555  
従業員数 13名  
事業内容 石油製品卸売業  
代表者 代表取締役 眞鍋 和典  
GSマネージャー 藤原 真一

### わが社の一押し

弊社は昭和26年に設立以来、たゆむことなく地域のお客様の暮らしや事業に役立つエネルギーを安定的に供給してまいりました。

私たちの何よりも大切な使命とは、一番身近な地域のお客様へ「高品質なエネルギーを安定供給すること」日々情報収集しながら更なるサービス向上に取り組んでいきます。

### 現場からひとこと

環境GSの取り組みを始めて、継続5年目の認定をいただきました。

燃料を輸送するタンクローリーの効率配送を行うために取り組みをスタートしました。

車両の増加や入替など、目標数値をクリアすべくプロジェクトチーム立ち上げました。

今後も環境を考えた取り組みに積極的にかかわっていきます。

## 株式会社辻商店



認定番号 272694  
住 所 伊勢崎市緑町21-1  
電話番号 0270-24-3232  
従業員数 27名  
事業内容 産業資材専門商社（溶接機、溶接材料、高圧ガス）  
代表者 代表取締役社長 辻 友康  
GSマネージャー 二宮 道明  
GSサブマネージャー 星野 隆史  
GSサブマネージャー 澤口 司

### わが社の一押し

昭和23年創業の老舗販売店として、高圧ガス、溶接機、溶接材料、産業機器販売を通じ、安心、安全を掲げ、地域発展に寄与してまいりました。この度、木崎駅南西にBCP（事業継続計画）に特化したBCPセンターを建設し、サプライヤーとしての安定供給の為に溶接機、溶接材料などを大量在庫し、非常用発電機や衛星電話など事業継続できる体制を整えました。

また、溶接ショールームでは、最新の溶接機器のデモや溶接講習会などを実施し、溶接に関わる人材育成をサポートしていきます。自然災害に耐えうる設備と人員を配備し、地域発展の為にこれからも「利他の心」で商売に邁進してまいります。

### 現場からひとこと

伊勢崎本社もBCPセンターもすべてLED照明で省エネを心がけております。社有車はすべてドライブレコーダーを装備し、エコ運転を推奨しております。この度、電気自動車も2台購入し、CO<sub>2</sub>削減のため、ガソリン軽減に取り組めます。空調はガスヒートポンプを採用し、電気代削減に大きく前進しました。これからもあらゆる面でエコ活動を推進します。

## 佐藤産業株式会社



認定番号 262403  
住 所 富岡市富岡1769  
電話番号 0274-62-3351  
従業員数 32名  
事業内容 総合建設業  
代表者 代表取締役 佐藤 克佳  
GSマネージャー 邊見 広  
GSサブマネージャー 佐藤 久美子  
GSサブマネージャー 竹ノ内 由美子

### わが社の一押し

弊社は、群馬県富岡市に本社を置き、医療施設、賃貸マンション、商業・公共施設、一般住宅及び公共・民間土木工事を請負う総合建設業です。

社会に奉仕することによる顧客の「信頼」が最高の財産と考え、品質のレベルアップを図り、お客様より満足と確かな信頼を得ています。

社員一人一人が誇りを持ち、一つとなって「物づくり」にまじめに取り組んでいます。

### 現場からひとこと

環境GS、エコアクション21を取得し社員の環境に対する意識が向上してまいりました。

地域の清掃活動、太陽光発電設備の設置、ハイブリッド車への切替え、エコドライブの推進など、環境に配慮した活動を進めています。

建設現場においても、施工業者とも一体となり、アイドリングストップなど環境への取り組みを行っております。

## 株式会社ホテル松本楼



認定番号 252326  
 住 所 渋川市伊香保町伊香保164  
 電話番号 027-972-3306  
 従業員数 113名  
 事業内容 旅館業  
 代表者 代表取締役 松本 光男  
 G S マネージャー 松本 光男  
 G S サブマネージャー 荒居 正  
 G S サブマネージャー 金井 健

### わが社の一押し

当館のテーマは、やさしさとふれあい。小さなお客様と一緒のお客様、お体の不自由なお客様といったお出かけにご苦労の多い方にこそ、当館でゆっくりお寛ぎいただきたい。そんな想いから、当館では施設のバリアフリー化をはじめ特別な献立のご用意などをいたしております。

これから伊香保温泉が発展していくためにも、長期的ビジョンをもって、地球にやさしい企業を目指し環境活動に取り組んで参ります。

### 現場からひとこと

環境GS認定を頂き、7年目となりました。

当館では2014年を基準とし、2020年度までにエネルギー使用量を5%削減することを目標としております。その為、デマンドを用いた電力管理、館内照明のLED化、節水機器のリース導入等積極的に省エネ活動に取り組んでおります。これからも、まずは個人そして家庭そして会社そして地域へと環境にやさしい取り組みを継続して参ります。

## 株式会社ファースト・ロジスティクス高崎営業所



認定番号 272478  
 住 所 高崎市宮原町4  
 電話番号 027-347-0209  
 従業員数 120名(高崎営業所11名)  
 事業内容 一般貨物自動車運送事業  
 代表者 代表取締役社長 野間口 正明  
 G S マネージャー 中澤 和人  
 G S サブマネージャー 大竹 治男  
 G S サブマネージャー 雨宮 利仁

### わが社の一押し

弊社は、昭和22年(1947年)に創業した第一屋製パン株式会社の物流部門を独立させた系列会社として、平成8年(1996年)に設立。

お客様の豊かな食生活を下支えるロジスティクスのプロたる使命感と誇りを胸に、全従業員が心をつなげて、おいしい製品を安全にお届けする品質管理と輸送技術の向上に努力を傾けてまいりました。これからも従業員一同、「おいしさまごころこめて」をモットーに、お客様の信頼を運ばせていただきます。

### 現場からひとこと

地球への環境負荷低減とさらなる安全運転を実現する観点から、群馬県が推奨する環境GS認定制度(群馬スタンダード認定)への参画を通じて、安全と環境からはじめる「人づくり」に力を注いでおります。認定継続年数も5年目となり、今後も環境に配慮した運転と交通事故防止に取り組んでまいります。

## 株式会社アイテク



認定番号 231750  
 住 所 高崎市問屋町2-4-5  
 電話番号 027-361-4540  
 従業員数 36名  
 事業内容 電気工事業/電気通信工事業  
 代表者 代表取締役 北形 信也  
 G S マネージャー 伊藤 伸一  
 G S サブマネージャー 宮本 孝守  
 G S サブマネージャー 恵川 幸男

### わが社の一押し

弊社は1950年の創立以来蓄積してまいりました、電気設備工事・ファクトリーオートメーション技術を基本として、多種多様なニーズに対応するため各事業を展開しています。

今後も、『社会のニーズ・顧客のニーズ』に答えられるように、新しい分野に積極的にチャレンジして豊かな社会づくりに寄与して行きます。

### 現場からひとこと

2018年に完成した新社屋は省エネを意識したものとなりました。照明は集中監視・制御で省エネを実現する制御システムを導入、空調設備では省エネ対応の機器選定を行いました。

また、経営方針に『資源の無駄な使用禁止』と『環境に関連する法律を遵守し、環境汚染防止』を掲げており、社内システムを活用したペーパーレスや冷暖房使用時期は、クールビズ・ウォームビズを実施し、社用車にはエコカーを採用しております。現場でも、資源を無駄にしない計画を立て実行することを常に心がけるなど、環境保全を意識した取り組みを持続させていきます。



# ワンポイント アドバイス ONE POINT ADVICE

環境GS  
推進員



今回は、  
清水 敬祐さん  
からのアドバイスです。

## SDGsで未来をかえる!! 皆さんも参考に見てみませんか?

皆さんはSDGs（エス・ディー・ジーズと読む）をご存じでしょうか？

初めて聞くという方も多いのではないのでしょうか。或いは、聞いたことがあるという方でもその内容について理解している方はそれほど多くないと思います。今回は、SDGsがどのようなものなのか、また、取り組むことの必要性について紹介します。

SDGsはSustainable Development Goals（持続可能な開発のための目標）の略称であり、2015年9月国連総会において193の参加国全会一致で採択されました。写真からもそのことが大変喜ばしいことであることが分かります。



SDGsは2030年までに達成すべき17の目標と169のターゲットで構成されています。それぞれの目標は世界規模で人類が乗り越えなくてはならない壮大なものであることがよくわかると思います。一見、それぞれは別々の項目であるように見えますが、相互に関わりや影響力を持っていることも多くあります。これらの17の目標は大別すると「環境性」、「社会性」、「経済性」の3つに分かれています。個々の目標との関わりがあるように、これらの3つが、それぞれに影響しあい、ひとつたりとも欠けてはいけな項目なのです。



今年度になり、みなかみ町が「SDGs未来都市」に採択されました。

これは平成29年度に始まった国の事業であり、SDGsの考えをもとに都市づくり、街づくりを行う自治体を選定するという事業です。ついに県内で唯一みなかみ町が選ばれました。もちろん、「環境性」、「社会性」、「経済性」についてそれぞれの取組みがあり、それらが相互に関連し、相乗効果を生み出して行きながら、持続可能な街づくりを達成していくという構図となっています。みなかみ町ではユネスコのジオパーク認定と森林資源を活かした活動を描いており、特に環境性を重視しているように見えます。

17の目標の中には「7 クリーンエネルギーの活用」や「13 気候変動対策」も項目があります。まさに環境GSの取組みである温暖化対策が盛り込まれており、言わずもがな環境問題の中でも気候変動に関しては人類の存続さえも脅かすものであり、持続可能な世界としていくために最も早急に取り組まなければならない課題なのです。SDGsは、決してネガティブなものではなく、17の目標を達成していくためのイノベーションが生まれたり、経済効果を生みます。つまり、国や企業がこのことに真摯に取り組むことは、まさに競争に勝ち、持続していくための大きなチャンスであり、ゆえに組織運営のコンパス（羅針盤）と言えるのです。群馬県では、2019年10月18日発表で「ぐんまSDGsイニシアティブ」を推進していくとありました。今後、身近な取組みとなってくると思います。皆様の組織でも、SDGsについて調べたり、勉強会を開いてみては如何でしょうか？



## 補助金を使って設備更新・導入を～補助金の活用方法～その 22

### はじめに

「補助金を使って設備更新・導入を～補助金の活用方法～その22」をお届けします。今回は、昨今甚大な自然災害が頻発していることを背景として、今年7月に施行された「中小企業強靱化法」にもとづく事業継続力強化計画についてご紹介いたします。計画認定を受けた事業者は税制優遇や金融支援のほか、一部の補助事業における優先採択の対象となります。最新の情報は中小企業庁HPをご確認ください。

### 事業継続力強化計画とは

#### (1) 概要

自然災害等による事業活動への影響を軽減することを目指し、事業活動の継続へ向けた取組みを計画するものです。本計画を作成・申請し、経済産業大臣より認定された事業者は、当該計画実施に資する税制や金融の支援等を受けることができます。

単独の企業で作成・申請する「事業継続力強化計画」と、複数の企業が連携して作成・申請する「連携事業継続力強化計画」があります。

#### (2) 計画の内容

中小企業者等が、自社の災害リスクを認識し、自然災害等の発生による事業活動への影響や、被災時の対応手順、具体的施策、計画の推進体制等に関する計画を策定します。

計画に記載する主な項目は以下の通りです。

- ・ハザードマップ等を活用した自然災害リスクの確認方法
- ・安否確認や避難の実施方法等、発災時の初動対応の手順
- ・人員確保、建物・設備の保護、資金繰り対策、情報保護に向けた具体的な事前対策
- ・訓練の実施や計画の見直し等、事業継続力強化の実行性を確保するための取組み 等

中小企業庁では、計画の申請を検討している中小企業に対する専門家派遣による個別支援等を実施しています。

#### (3) 認定事業者への支援措置

##### ①中小企業防災・減災投資促進税制

対象設備	認定された事業継続力強化計画に従って取得した一定の設備等 ○機械装置(100万円以上)：自家発電機、排水ポンプ 等 ○器具備品(30万円以上)：全ての設備 ○建物附属設備(60万円以上)：止水板、防火シャッター 等
支援措置	特別償却 20%

##### ②金融支援

支援内容	○日本政策金融公庫による低利融資 ○中小企業信用保険法の特例（信用保証の別枠化、保証枠の拡大）
------	--

##### ③補助金における優先採択

平成30年度補正「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」2次公募において、認定事業者への優遇措置(加点)がとられました。来年度以降の補助金においても認定事業者を加点対象とする補助金等が広がっていく可能性があります。

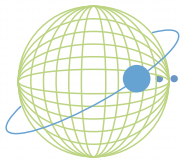
### 補助金の相談窓口

補助金の相談は群馬県地球温暖化防止活動推進センター（TEL 027-289-5944）まで。事例に精通したGS推進員を派遣しますので、お気軽にご相談下さい。また下記サイトでは最新の補助金情報を掲載していますので、参考にして下さい。

環境・エネルギー補助金サイト「エネポ」<http://www.ene-po.com/>

未来の企業応援サイト「ミラサポ」<https://www.mirasapo.jp/>

文責：環境GS推進員 関 誠



### 省エネ診断をご活用ください

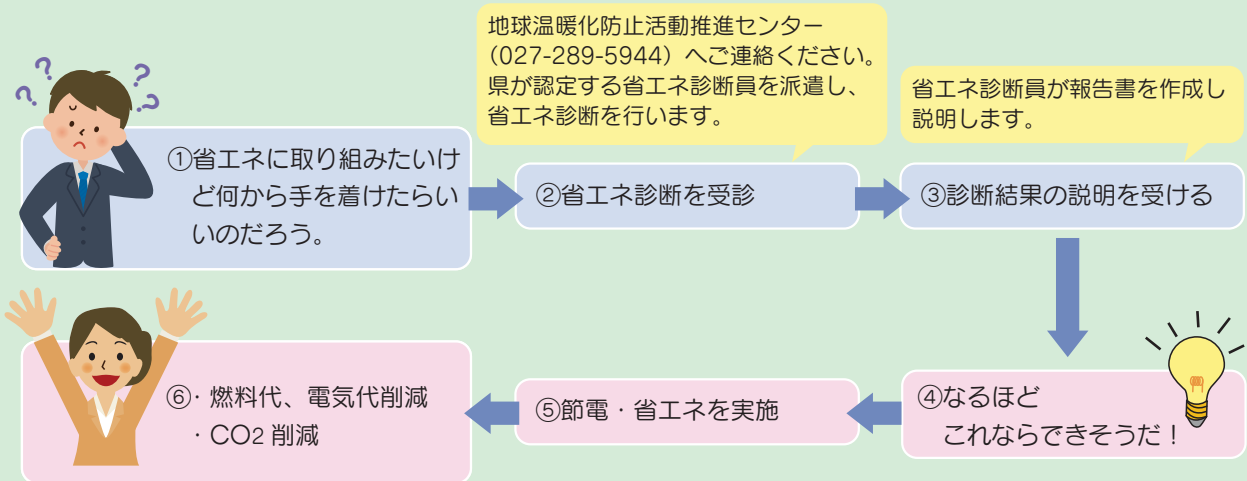
#### ・省エネ診断員の派遣

工場や事業所等のエネルギー消費量の削減について、具体的な省エネの取組や改修計画を提案できる有資格者を「省エネ診断員」として**無料**で派遣します。

現状と問題点を把握し、改善策に取り組むことで、エネルギーコストの削減や温室効果ガス排出量の削減につながります。

派遣を希望される方は群馬県地球温暖化防止活動推進センター (027-289-5944) へご連絡ください。

#### ・派遣申込みから結果説明までの流れ



### エコドライブ支援装置を貸し出しています

エコドライブ支援装置 (ECO-SAM) の貸出を**無料**で行っています。

装置の端末を自動車のソケットに差し込むと、運転の仕方が記録されます。記録されたデータは事務局 (群馬県地球温暖化防止活動推進センター) で解析を行います。

解析したデータをもとにエコドライブを実施し、温室効果ガス・燃料費等の削減に役立ててみてはいかがでしょうか。



○申請…県ホームページより「群馬県エコドライブ支援装置利用申請書」をダウンロードのうえ、

群馬県地球温暖化防止活動推進センターへ送付

Fax : 027-289-5945 E-mail : info@gccca.jp

○貸出期間…貸出日・返却日を含め2週間以内

○エコドライブ支援装置の記録可能時間…最大約60時間 (約1週間程度)

※エコドライブ支援装置は数に限りがあるため、貸出台数および貸出期間を調整させていただくことがあります。